

令和 7 年度

佐賀大学大学院
学校教育学研究科入学試験問題
筆記試験

解答上の注意事項

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 「解答始め」の合図があったら、すべての解答紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 4 問題紙及び答案紙は持ち帰ってはならない。
- 5 その他、監督者の指示に従うこと。

令和7年度佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)入学者選抜試験

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

筆記試験 試験問題

問1

現行の学習指導要領では、学習目標の見直しに伴い、学習評価の観点全ての教科において3観点到統一された(別紙)。その内、「学びに向かう力・人間性等」の目標の達成をどのように評価すべきか、以下の3点を的確に説明しながら、あなた自身の考えを述べなさい。

- ①観点到別評価や評定にはなじまず個人内評価を通じて見取る部分
- ②「主体的に学習に取り組む態度」の評価
- ③指導と評価の一体化

問2

令和4年12月13日に文部科学省が公表した「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」においては、よりインクルーシブな社会の実現に向けて関連施策等の一層の充実を図ることが求められている。このことを踏まえ、あなた自身が、教師として、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、どのような教育的支援に取り組んでいくか、次の4つの語句を用いて、あなたの考えを具体的に述べなさい。

- ①合理的配慮
- ②個別最適な学び
- ③個別の教育支援計画
- ④校内支援体制

問3

教育公務員特例法には、次のような規定がある。

第21条(研修)

教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

第22条(研修の機会)

教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

こうした規定を受けて、各学校では「校内研修」や「校内研究」が行われている。このような「校内研修」や「校内研究」を効果的なものとするためには、どのような組織運営が必要と考えるか、答えなさい。その際、「協働づくり」、「組織マネジメント」、「リーダーシップ」という3つのキーワードをすべて用いること。

(別紙)

(この部分につきましては、著作権の関係により、掲載しません。)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1412933.htm

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「児童生徒の学習評価のあり方について(報告)」より
一部抜粋 (R6.7.22 採取)

令和 7 年度

佐賀大学大学院
学校教育学研究科入学試験問題
口述試験（場面指導）

解答上の注意事項

- 1 試験問題は持ち帰ってはならない。
- 2 その他、口述試験実施担当者の指示に従うこと。

令和7年度 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)入学者選抜試験

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

口述試験(場面指導) 試験問題

【場面】

勤務している学校に外国人児童生徒 A が入学してくることが分かった。両親ともに外国籍で、仕事の関係で来日されており、この後、数年間は日本に滞在予定である。本人も保護者もまだ日本に来てから数ヶ月しかたっておらず、日本語での意思疎通が難しい状況である。あなたは、A さんを受け入れる学級の担任をすることになりました。

【問題】

この後、担任としてどのように対応しますか。

【注意】

あなたが所属するまたは採用を希望する校種に応じて、具体的な対応とその理由について解答しなさい。また、これまでこのような児童生徒の受け入れの経験がなかったとしても、該当する児童生徒がいることを想定して解答しなさい。